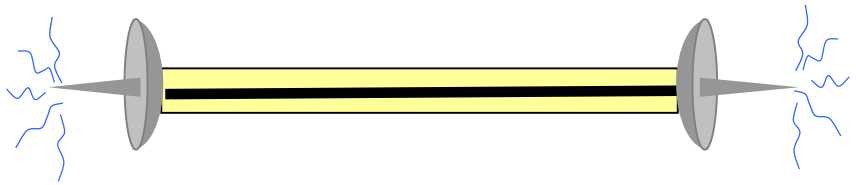
短繊維のためコロナ放電による除電性に優れる

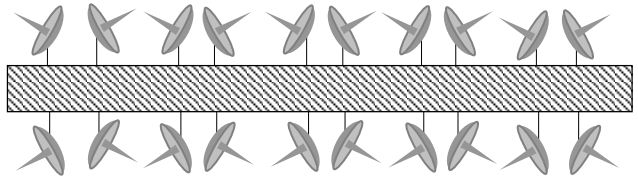
長繊維に比べ繊維末端が多く、“コロナ放電”が発生しやすくなるため、除電効率が高くなります。

※コロナ放電とは、尖った電極から起こる数μAの極弱い電流を、大気中に持続的に放電する現象です。
「コアブリッド™ B」は導電繊維のため、繊維末端が“尖った電極”となり。コロナ放電を起こして帯電した電荷を放出します

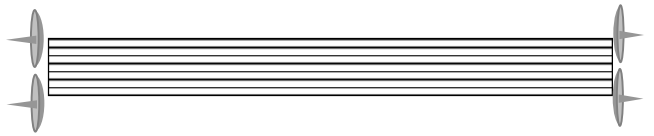


コアブリッド™ B
繊維両端が“尖った電極”となりコロナ放電を起こす
（※アンテナはイメージ）

導電**短**繊維を使った糸や生地
＝**繊維末端が多く、コロナ放電が発生しやすい**



導電**長**繊維を使った糸や生地
＝**生地の両端にしかコロナ放電が発生しない**

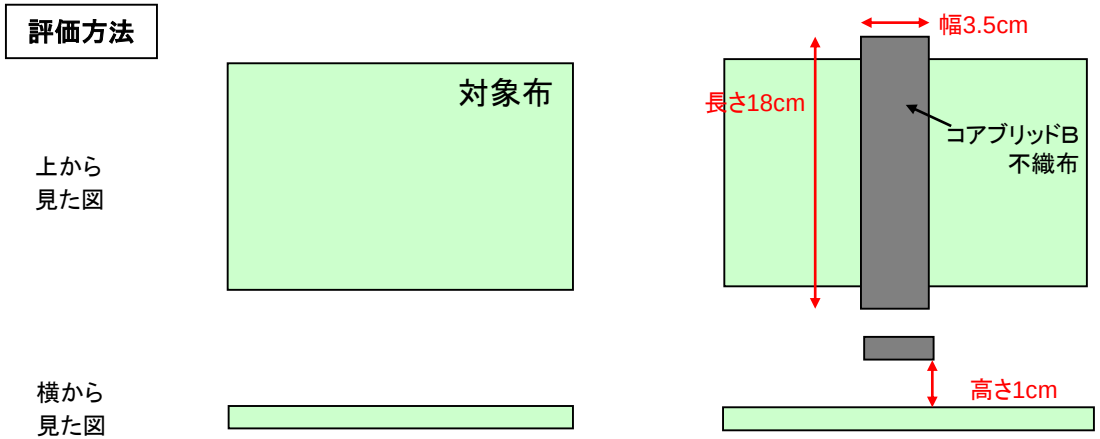


コアブリッド™は三菱ケミカルの登録商標です。

非接触による除電が可能

コロナ放電の効果により、不織布やブラシなどにより非接触でも除電性能が発揮されます。

評価方法



綿布で摩擦し、帯電させたナイロン布及びコピー用紙を短冊状にカットした不織布に近づけ（非接触）、帯電圧を測定

結果

サンプル	帯電圧（vs ナイロン布）	帯電圧（vs コピー用紙）
なし	+9.93kV	-8,35kV
コアブリッド™ B不織布（78%混 1.1mm厚）+A1	**+0.22kV**	**-2.11kV**

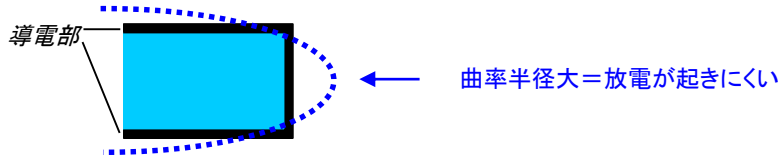
試験環境 20℃,20%RH

これは、導電繊維の末端に生成される“電界”の効果によりコロナ放電が起こるためです。
コアブリッド™ Bは芯部に導電性を持たせており、導電部位の『曲率半径』が小さいことから、コーティング型導電繊維と比較してコロナ放電が起きやすい特性があります。

芯鞘型【コアブリッド™ B】



コーティング型導電繊維



コアブリッド™は三菱ケミカルの登録商標です。